

JFW-IFF
FBS07.23 (WED) 24 (THU) 25 (FRI), 2014
10:00-18:00 LAST DAY 10:00-17:00 [ATOKYO BIG SIGHT]

2000年1月にスタートしたJFW-IFFは今回で、15年 30回目を迎えた「15th year ANNIVERSARY」の節目の年となります。私は、第1回目の2000年1月展より取材を続けてまいりました。この間、出展企業、団体、海外出展国等々の変化、そして来場者 の変化を見て来ました…アパレル・ファッションを主体とした「IFF展」は、時代の経過と共にファッション雑貨が大きく拡大している。また、会場構成も、メンズ・レディース・キッズのゾーニングから、ライフスタイル提案型のゾーニングへと変化…時代の流れを痛感!

今回、第30回を迎え前回1月展から導入した5つのテイスト別ゾーンの充実と独自に編集した提案エリアで構成。OEM(相手先 ブランドによる生産)や店頭支援システムを手掛ける企業が出展する第2回ファッションビジネス・ソリューション・フェア(FBS)も併設 出展企業は合わせて約660社で、ファッションビジネスに生かせる総合見本市となっている。

今回の「ファッション・ワンダーランド」はファッションの楽しさ、魅力を再度打ち出してビジネスの活性化に繋げている! 記念の30回展のアトリウムを飾るのは「MODE & DESIGN」と「CREATOR'S VILLAGE」。デザイナーの個性やメッセージを感じる 売り場のアクセントになるブランドや製品が勢揃い…なかでも若手クリエイターのインキュベーションゾーンにはフレッシュな顔ぶれ が続々。また「CREATORS TOKYO(TOKYO新人デザイナーファッション大賞)」…TOKYOがら世界に羽ばたくファッションデザイナー わ輩出すべく審査を経て選出された若手デザイナーのビジネス支援(6組が参加)…クールな大人服から遊び心イッパイの楽しい 雑貨まで!

主要な会場のゾーニングは、レディースの「URBAN ELEGANCE」、「REAL LUXE」、「NATURAL LIFESTYLE」& 「DOG FASHION」そして雑貨を主体とした「ACTIVE & CASUAL」…このゾーン内に(SPAビジネスマッチングエリア)ODMメーカー24社が集結。毎回拡大しているゾーンが「INTERNATIONAL」インド(65社)をメインに、タイランド、バングラデッシュ、中国、他21カ国が参加!

併設の「FBS」(FASHION BUSINESS SOLUTION FAIR 2014)…素材&資材、物流、情報機器、生産機器、店頭支援、等々 1月の第1回に続き第2回となる「FBS展」は、ファッションビジネスをサポートする企業を集めた展示会です。1月展にも記しましたがまだまだ魅力に欠ける展示会であり…今後の進展に期待する。

写真&レポート:TDA広報 志智俊介

文化ファッションテキスタイル研究所
見学会

●日時: 2014年7月25日(金)



八王子は古くから養蚕が盛んで、特にネクタイは国内有数の産地として有名だが、1970年をピークに海外製品におされ今はかなり落ち込んでい、その中でも、みやしんはイッセイミヤケの生地を多く手掛け、世界の美術館にも永久保存されるほどの織物を開発した。しかし近年のファストファッションや大手アパレルのまず値段ありきのもの作りに、おされるかたちになり、2012年10月に自ら生産を中止にした。この出来事は業界に衝撃を与えた。

しかし文化学園が土地を買い取り、工場を生かし、人材育成と産業の活性化を視野に入れた施設として、文化・ファッションテキスタイル研究所が2013年5月に生まれ変わった。みやしんの宮本社長は研究所所長に就任した。

TDAでは今年新たに文化学園大学の松田さんが理事に就任した事もあり早速メンバーを応募し見学会を行った。見学会では宮本所長より今迄の開発の経緯や、織物、糸、染色、加工、複合技術、色など実物を見ながら説明を受け、工場内の生産工程の説明や、保存資料の見学などが行われた。見せて頂いた生地はもちろんの事、保存資料など貴重な布はまさに日本の宝であり、これからの可能性を多く秘めている。

文責:豊方

